

# ふちゅう

# 町議会だより

第179号

令和7年11月  
広島県府中町議会



**つながり、広がる笑顔！** (写真の紹介 p.14)

## 令和6年度決算を認定

決算審査、9月定例会	2～4
16人が町政を問う 一般質問	5～13
常任委員会レポート	13
副議長の改選	14

## YouTubeで公開中！



定例会の録画映像を  
配信しています。

府中町議会【公式】

検索

※視聴環境により、通信料がかかる場合があります。

# 大幅な黒字決算、

## 令和6年度決算審査

### 委員からの主な意見

審査過程での意見のうち、次の3つを本会議で報告しました。

**1** WACTORY パーク 揚倉山の再整備に向けた検討が進められている。再整備にあたっては、利用者ニーズ調査の結果や防災活用も踏まえつつ、より一層活用が進むよう整備を進められたい。



**2** 部活動指導員の配置など地域移行に向けた体制整備が、教員の負担軽減に寄与している。引き続き人材確保に努め、円滑かつ計画的な移行を進められたい。



**3** 町税などの収納率は、引き続き高い水準で維持されている。債権管理課は税務課へ統合となったが、滞納世帯へは、引き続き各家庭の事情に寄り添った丁寧な対応に努められたい。



### 令和6年度に実施した主な事業

#### ◆子どもの予防的支援構築事業

1,631万円

新たに5歳児子育て・育ちサポート相談を試行実施。

#### ◆低炭素型社会づくり推進事業

216万円

家庭用太陽光発電システム・蓄電池等に対する購入補助を実施。

#### ◆都市計画調査事業

900万円

WACTORYパーク揚倉山再整備・利活用に関する基本構想を策定。

#### ◆チェリーゴード空城パーク再整備事業

6,266万円

老朽化したアスレチック等の撤去、大型遊具・インクルーシブ遊具の整備を実施。

#### ◆学校運営改善推進事業

2,621万円

スクールカウンセラー、スクールサポートスタッフ、部活動の地域移行に向けた部活動指導員などを配置。

#### ◆公共施設維持保全事業（中学校改修）

1億6,168万円

緑ヶ丘中学校校舎の屋根・外壁を改修。

### 現地踏査 / インクルーシブ遊具を視察

9月12日、決算審査特別委員会の委員8人が、決算の主要箇所として「チェリーゴード空城パーク」を踏査しました。現地では、令和6年度に整備したインクルーシブ遊具※について、説明を受けました。

※障害がある子ども、ない子ども一緒になって遊ぶことができる遊具。



# 企業好調が後押し

### 令和6年度決算審査

令和6年度歳入歳出決算を審査するため、8名の委員で構成する決算審査特別委員会（委員長・森本将文議員、副委員長・梶川三樹夫議員）を設置し、9月5日から16日までの日程で審査を行いました。

審査の結果、認定すべきものと決定し、定例会最終日の17日の本会議において、委員会報告のとおり決算を認定しました。

### 令和6年度決算の概要

◆一円未満を四捨五入しています。

**●歳入**  
一般会計の歳入は、前年度と比較して個人町民税が定額減税の影響で2億2,401万円減少したものの、企業の業績好調を受けて、法人町民税が15億6,069万円の増、固定資産税が1億3,516万円の増となったことから、町税全体では14億7,972万円の増の91億8,126万円となりました。町税以外では繰入金（4億1,922万円増）、地方交付税（3億8,043万円増）、地方特例交付金（2億4,944万円増）が増加し、町の借入金である町債は1億1,760万円減少しました。歳入総額は28億3,567万円（13・4%）増の237億2,801万円です。

**●歳出**  
物価高騰対策として、高齢者・障害者施設や学校給食等への支援、定額減税補足給付など、国の施策・補正予算に応じて交付税（3億8,043万円増）、地方特例交付金（2億4,944万円増）が増加し、町の借入金で

総額約7億円の支援を実施しました。また「暮らし心地1番」と実感できるまちづくりに向けて投資的事業では、向洋駅周辺土地区画整理事業、道路新設改良事業、緑ヶ丘中学校校舎の屋根・外壁改修、チェリーゴード空城パークの遊具等整備を進めたほか、WACTORYパーク揚倉山の再整備に向けた基本構想を策定しました。その他、子育て支援では産後ケア費用軽減、新卒保育士等への就職支援、子ども医療費助成の所得制限撤廃に向けた準備、環境分野では太陽光発電への補助、防災・減災分野では防災倉庫の整備など、町民の暮らしを支える多様な事業に取り組みしました。歳出総額は、21億5,676万円（10・4%）増の227億9,610万円です。令和6年度実質収支額※は9億7,955万円です。

### 令和6年度 各会計決算額

区分	歳入総額	歳出総額	実質収支額※
一般会計	237億2,801万円	227億9,610万円	9億7,955万円
土地取得	0万円	0万円	0万円
国民健康保険	43億3,056万円	43億2,696万円	360万円
介護保険	41億4,329万円	40億9,958万円	4,371万円
後期高齢者医療	9億3,617万円	9億3,555万円	61万円
下水道事業会計（事業損益）	13億2,518万円	13億2,518万円	0万円

※実質収支額は、歳入総額から歳出総額を引いた形式収支から翌年度繰越財源を引いたものです（下水道は収益的収入支出の税負担額で実質収支額は利益額を記載）。万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致していない場合があります。

# 町政のここが聞きたい

## 一般質問

町行政全般に対し、16人の議員が16件の一般質問を提出し、町執行部の所信をただしました。

※一般質問とは？：定例会の本会議で、議員が町長などに対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、報告や説明を求めることをいいます。

### 一般質問通告一覧

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>P5</b> 梶川 三樹夫 議員<br/>向洋駅周辺整備にあわせた“賑わいづくり”について</p> <p><b>P6</b> 安部 智恵美 議員<br/>府中町におけるカスタマーハラスメント対策について</p> <p>二見 伸吾 議員<br/>児童・生徒の不登校について</p> <p><b>P7</b> 宮本 彰 議員<br/>南海トラフ地震発生前の準備状況の確認</p> <p>西山 優 議員<br/>デフリンピックを契機とした聴覚障害への理解促進について</p> <p><b>P8</b> 橋井 肇 議員<br/>異常高温等への対策について</p> <p>齋藤 昇 議員<br/>敬老の祝行事について</p> <p><b>P9</b> 金澤 映理子 議員<br/>ひきこもり相談支援について</p> | <p><b>P9</b> 森本 将文 議員<br/>高齢者いきいき活動ポイント事業について</p> <p><b>P10</b> 川上 翔一郎 議員<br/>自立支援センターの役割について</p> <p>田中 伸武 議員<br/>クマ対策と自然体験</p> <p><b>P11</b> 山口 晃司 議員<br/>地震に対する町内建築物の耐震化に向けた取り組みについて</p> <p>木田 圭司 議員<br/>自転車通行環境の整備について</p> <p><b>P12</b> 狩野 雄二 議員<br/>AEDの設置について</p> <p>松本 真明 議員<br/>連立事業延伸による向洋駅周辺土地区画整理事業への影響は</p> <p><b>P13</b> 三宅 健治 議員<br/>防火防災リーダー育成について</p> |
|--|---|

今後、先進自治体の事例を参考に、地域住民や企業等と連携した

問 土地区画整理事業が進む向洋駅周辺については、人の流れを利用した賑わいづくりが必要と考えます。カーブロードを参考に、駅構内や道路等に府中町出身の有名漫画家の作品やPR大使の写真を展示するなど、特色を出していくべきだと思えますが、町の考えは。

答 策定中の第5次総合計画に「住民・事業者・行政が力を合わせて工夫することで、まちの魅力と賑わいを創出する」ことを盛り込み、まちの特色を生かした賑わいづくりを重要な施策と位置づけています。



新たな街並みにあわせた賑わいづくりを  
(イラストは完成イメージ図)

問 賑わいづくりの調査研究を進めます。

答 賑わいづくりの方向性を示すことは重要ですが、行政による一

問 町として、早期に方針を立て、補助金等の支援メニューを創設する考えは。

答 賑わいづくりの方向性を示すことは重要ですが、行政による一



梶川 三樹夫 議員

### 住民・企業と連携して検討



▲動画はこちらから

◆補正予算 主な取り組み  
二万円未満を四捨五入しています。

くすのぎプラザ空調設備を改修 3512万円  
実施設計をしていた空調設備の改修に着手。  
・工期 令和7年11月～令和8年7月  
・工事費総額 8781万円(予定)  
※補正額は前金払相当額。  
住宅用防犯設備の設置補助 463万円  
屋外防犯カメラやモニター

### 情報公開条例を全部改正

【主な内容】  
・対象文書を「職員が組織的に用いる文書」とし、未決裁文書も対象に。  
・開示請求できる人を「何人も請求可能」に変更し、請求権者の範囲を拡大。  
・施行期日 令和8年1月1日

## 採決結果

◆審議した13件全てが全会一致となりました。

町長提出議案	町長提出議案
令和7年度府中町一般会計補正予算(第3号)	財産の取得について
令和7年度府中町土地取得特別会計補正予算(第1号)	学習系教師用端末機器等購入
令和7年度府中町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	町道路線の認定について
令和7年度府中町介護保険特別会計補正予算(第1号)	令和6年度府中町歳入歳出決算の認定について
令和7年度府中町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	令和6年度府中町下水道事業会計決算の認定について
府中町情報公開条例の全部改正について	専決処分(承認)
府中町職員の育児休業等に関する条例及び府中町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	令和7年度府中町一般会計補正予算(第2号)
	議員提出議案
	府中町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について

## 全員協議会報告

総合計画(基本構想)

7月9日に全員協議会を開催し、策定中の「第5次総合計画」の基本構想原案について、説明を受けました。今後、具体的な政策内容も報告を受ける予定です。

### 将来像を設定

みんなの「暮らしたい」がかなうまち あきふちゅつ政策の柱は6つ  
「福祉・子育て・健康」「教育・文化」「地域・環境」「安全安心」「生活基盤」「自治・行政」の6分野を政策の柱としてまちづくりを進める。

### 問

将来像がこれまでの計画と変わっている。これまでの成果と新たな将来像の設定理由を示すべきでは。

答 そのように検討する。

### ◆その他の議題

府中町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について



あべ 智恵美 議員

### 問 町役場のカスハラ対策は

### 答 効果的な取り組みを検討



▲動画はこちらから

**問** 公共機関におけるカスハラ（カスハラ）が社会問題化しており、その対策は重要です。行政機関特有の事情や傾向はありますか。

**答** 過剰な期待や威圧的な要求をされる、といったカスハラが継続的に発生する傾向にあります。そのため、税や福祉の窓口業務は、制度等への不満からカスハラメントに発展しやすいと考えます。

**問** 職員の相談窓口や心理的ケアの体制は。

**答** 要綱を定め、現在、4名の相談員が対応しています。また、心理的ケアが必要な場合は、産業保健師につながります。

**問** SNS上のカスハラへの対応は。

**答** 警察への通報や運用者への削除要請など、適切に対応します。なお、現時点で被害の報告はありません。

**問** 対策や啓発について今後の見通しは。

**答** 現状把握と事例研究を進め、庁舎内への注意喚起ポスターの掲示や広報紙での啓発など、効果的な取り組みを検討します。



安心して働ける職場づくりが求められる

### 問 南海トラフ地震への備えは

### 答 減災の取り組みを進める



▲動画はこちらから

**問** 府中町は、南海トラフ地震の影響を受けると予想されています。事前の備えと災害時の円滑な対応が喫緊の課題です。地震発生時の情報発信手段として防災行政無線以外の手段は。

**答** 災害時、確実に情報伝達するため、防災行政無線のほか、LINE E、メール、Lアラート※を活用した複数手段による情報発信に取り組んでいます。

を候補地として想定しています。ただし、遺体安置場所は現時点で未選定で、今後の課題です。災害廃棄物置き場、仮設住宅については、さらなる候補地の確保に努めたいと考えます。また、地震被害を軽減するためには、個人や地域での備えも欠かせないことから、防災講座を通じて、被害を最小限に抑える減災の啓発に今後も取り組めます。

※テレビ（データ放送・L字画面）、ラジオ、インターネットなど様々なメディアを通じて災害情報を一斉発信する情報共有システム。



にしやま まさる 西山 優 議員

### 問 聴覚障害への理解促進は

### 答 啓発や講座を継続して行う



▲動画はこちらから

**問** 「デフリンピック」は、きこえない・きこえにくい人のためのオリンピックであり、11月に日本で初めて開催されます。デフリンピックを契機に聴覚障害への理解を深めるために、広報・啓発活動を実施する考えは。



東京2025デフリンピック全国キャラバン活動

**答** デフリンピックやデフスポーツへの理解を広げるため、全国キャラバン活動が実施され、府中町へも8月に訪問があります。また、スポーツ庁や一般財団法人全日本ろうあ連盟のホームページでは、デフリンピックの紹介や、開催期間中の動画配信が予定されています。町としても、広島県や広島県ろうあ連盟と連携し、大会周知に

向けた広報事業に取り組めます。

**問** 公共施設や窓口での手話通訳者の配置や、手話奉仕員養成講習会などの取り組みは。

**答** 福祉課に手話通訳者を配置して手続きなどの支援をしています。また、円滑なコミュニ

ケーションの推進を図るため、手話奉仕員養成講習会を府中町社会福祉協議会に委託して実施し、昨年度は30人の受講がありました。障害のある人もない人も互いの個性を尊重し、共生する社会を実現するため、啓発や講座を継続して実施していきます。

**答** 敷地面積の大きい「WACTORYパーク場倉山」や「チェリール」が空城パーク



事前の備えと対策が減災につながる



ふたみ しんじ 二見 伸吾 議員

### 問 児童生徒の不登校について

### 答 個に応じた支援を行う



▲動画はこちらから



個々の状況に応じた支援をすすめる

**問** 町や学校の教育支援センターの活動内容は。また、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）、青少年教育相談員の現状は。

**答** 町教育委員会として、休養の必要性を踏まえつつ、個に応じた支援を行うことが重要と考えています。また、登校することのみを目標とせず、社会的に自立していけるよう、多様な学びの選択肢を提供することが重要と考えています。

**答** 町の教育支援センター（たんぼぼの部屋）では、自分で決めた時間に自分で決めた学習をする活動を支援しています。校内教育支援センターでは、登校時間や学習活動を工夫したり、友達との交流の場を設けたりしています。SC、SSWは、各学校を定期的に巡回、青少年教育相談員は、たんぼぼの部屋の運営や学校を巡回し、保護者と連携しながら支援しています。



**問** 今年度から、「木造住宅耐震改修補助事業」を拡充しましたが、その効果は。

**答** 耐震改修、現地建替え、非現地建替え、除却を各1件、合計4件を予算計上し、9月現在、合計で4件の申請があり予算額の上限に



巨大地震に備えて耐震化が重要

達しています。「木造住宅耐震改修等補助事業」を活用して住宅の建替えを検討しているという相談も受けています。これまでの補助実績は、平成29年度から令和6年度までの8年間で2件でしたが、補助制度の拡充によって耐震化の取り組みが進んだのでは

**問** 能登半島地震では、「新耐震基準」の木造住宅のおよそ3割が全壊や半壊の被害を受けました。国、広島県の指針や動向を注視し、先進自治体等の取り組みについて情報収集し、新耐震基準の住宅についても、効果的な取り組みがないか研究していきます。

**答** 能登半島地震では、「新耐震基準」の木造住宅のおよそ3割が全壊や半壊の被害を受けました。国、広島県の指針や動向を注視し、先進自治体等の取り組みについて情報収集し、新耐震基準の住宅についても、効果的な取り組みがないか研究していきます。

**問** 府中町では、周辺市町への交通手段として自転車数が19.3%を占めており、自家用車に比べ主要な移動手段となっています。しかし、町内の道路は、幹線道路を除き、歩道、車道ともに幅員が狭く、自転車の安全な通行環境が十分とはいえません。自転車数が安全に通行できる環境を整備するために、計画を立て、体系的に取り組むことが重要と思いますが、町の考えは。

**答** 町内における自転車の通行位置と方向を示す路面標示（役場前県道）



自転車の通行位置と方向を示す路面標示（役場前県道）



やまぐち けんじ 山口 晃司 議員

**問** 新たな耐震改修の助成は効果的な取り組みを研究



▲動画はこちらから

ないかと考えます。

**問** 能登半島地震以後、「旧耐震基準」（昭和56年以前）の建物だけでなく、「新耐震基準」（昭和56年～平成12年）の建物についても独自の補助制度を作り耐震化を進めている自治体があります。府中町での検討状況は。

**答** 能登半島地震以後、「旧耐震基準」（昭和56年以前）の建物だけでなく、「新耐震基準」（昭和56年～平成12年）の建物についても独自の補助制度を作り耐震化を進めている自治体があります。府中町での検討状況は。



きだ けいすけ 木田 圭司 議員

**問** 自転車の安全通行対策は体系的に取り組む



▲動画はこちらから

新たなまちづくりの10年計画である「府中町第5次総合計画」期間中には交通結節点である向洋駅のJR高架化、周辺の街路整備に併せて、自転車の通行環境を整備することが必要と考えています。そのため、「第5次

総合計画」の実施計画において、財政状況を考慮しつつ、自転車活用推進に関する計画を策定している県内市町の事例などを参考に、県計画と連携した計画の策定や体系的な取り組みを検討します。



相談窓口「府中町くらしごと自立応援センター」

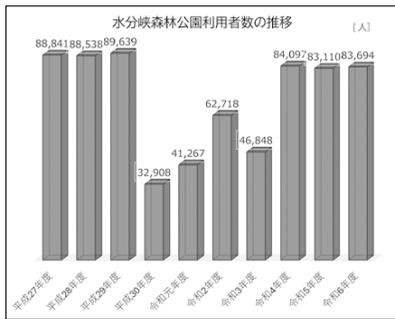
**問** 町では、様々な理由により生活に困難を抱える方に対して「府中町くらしごと自立応援センター」で相談を受け、一定の成果を上げていると聞いています。このセンターの実績について町としてのように評価していますか。

**答** 令和6年度の実績は、相談者数73人、相談件数延べ304件で、そのうち、10人の就職が決まり、支援を終えることができました。これらの実績から、生活困窮者の方々の自立に向けた支援に一定の成果を上げていると評価しています。

**問** 支援につながるなかった方や相談の途中で関わりが途絶えてしまった方もいるのではないかと思います。こうしたケースの課題をどのように分析し、今後の改善に生かしていきますか。

**答** センターでの相談では、相談者が望まれる支援と改善すべき内容が一致せず支援に至らなかったり、中断したケースもあります。こうした課題に対しては相談者のニーズを聞き取り、共同で支援プランを作成する、継続的なフォロー体制をつくり、必要に応じて関係機関との連携強化を図るなど、より効果的な支援体制を目指します。

**問** サポートクラブなど水分峡森林公園での体験活動の現状、「自然とのふれあい推進」（町環境基本計画）の



多くの利用者の憩いの場となっている「水分峡森林公園」

**問** 町内でもクマの目撃情報があったが、生息数・事故などの現状は。

**答** 西中国山地（広島県・島根県・山口県）に生息するツキノワグマの生息数は約1300頭です。県内では芸北地域が主要な生息地でしたが、近年は広島市佐伯区・安佐南区・安佐北区に広がっています。人里近くでの目撃情報や農作物への被害、人身事故も増えています。人身事故の発生件数は3県合計で、平成15年度は1件、令和2年度は7件です。

**問** 今後の方策は。

**答** みくまりの森サポートクラブは、町内の小学生を対象に、年に2〜3回の林業体験活動を行ってきました。熊撃退スプレーや熊鈴の携帯等の対策を講じ、年度当初に計画していた体験活動は全て実施予定と聞いています。

第2次環境基本計画の重要な柱である「自然とのふれあい」の推進は、事件やクマ目撃情報の影響を克服し、計画を着実に推進していくため、「安全対策の強化」「公園の魅力向上」「情報発信の強化」の3つの施策を実施していきます。



かわかみ しゅういちろう 川上 翔一郎 議員

**問** 自立応援センターの役割は自立に向けて効果的に支援



▲動画はこちらから



たなか のぶひこ 田中 伸武 議員

**問** クマ目撃後の自然体験は必要な対策をして実施



▲動画はこちらから

**問** 府中町少年少女消防クラブの活動について、年会費や全国大会の交通費などの経済的負担が参加の障壁となる場合があります。保護者の経済的負担をどのように考えていますか。また将来の防火防災リーダー育成の観点から、クラブ運営の恒常的な



将来の地域防火・防災を支える「府中町少年少女消防クラブ」

**答** クラブ運営については、例年、広島県消防設備協会からの補助はあるものの、運営費、活動費、旅費の一部が会費等によるクラブ員の負担となっています。これは認識しています。消防としては、近隣

財源や制度を整備する考えは。



あらい けんじ 議員

**問** 防火防災リーダーの育成は重要であり支援を続ける



▲動画はこちらから

地域での外部研修の移動手段としてマイクロバスを借り上げています。将来の地域防火・防災体制を支える人づくりの観点で今後も支援を続けます。

**問** 自主防災力向上の観点から、活動をどのように評価し、支援する考えか。

**答** 活動は、自主防災力の向上に寄与するもので、非常に重要なものと位置づけられています。そのため、消防本部に事務局を置き、育成指導や広報活動に取り組んでいます。今後も、消防本部が主体となり研修や訓練等を継続するとともに、消防団等の地域と連携した取り組みを進めます。



いのう じゅんじ 議員

**問** 24時間使えるAED設置は課題等含めて研究する



▲動画はこちらから

れていますが、使用できるのは施設などが開いている時間帯に限られています。屋外への設置や24時間営業の店舗、施設への設置について、課題等含めて研究します。

**問** 町内会の集会所などに町として設置する考えは。

マラソン大会で1件、大型商業施設で2件です。

**問** 公共施設などで、24時間いつでも使える状態にする考えは。

**答** AEDは公共施設25カ所、店舗・事業所31カ所、医療機関32カ所の合計88カ所に設置さ

**答** 救命された事例は、



公共施設内などに設置されているAED

**答** これまで2町内会から要望があり、コミュニティ助成事業を活用して設置しています。AEDは設置後も維持管理を定期的に行う必要があること、また、心肺停止時の処置などを考慮すると、誰でも入ることが可能な、施錠されていない施設が優先と考えているため、集会所への設置は考えていません。



しみと ともと 議員

**問** 連立事業延伸による影響は最小限となるよう努める



▲動画はこちらから

響は。また清算金を分割徴収する場合の利息と金利変動リスクは。

ます。また利息についても、清算時点での法定利率以内の率で定め

**答** 清算金の計算において、土地評価の変動影響が無いとは言えませんが、全工事が完了した段階で清算金を計算し、個別通知により権利者の方へお知らせし

**答** できるだけ早い事業完了に向けて、随時、調整を図ります。

**問** 事業期間が延びることによる清算金への影



向洋駅周辺では駅南側の整備が進む

**答** 令和7年4月時点で宅地となる画地の78・1%、6・11haの整備を終えています。仮線用地跡地や現駅舎撤去後に整備予定の線路沿

宅地などは、連立事業が終わらなければ整備できません。そのため、土地区画整理事業の期間延伸は避けられず、県と事業調整し、影響が最小限となるよう努めます。

## 常任委員会レポート

### 建設消防委員会

揚倉山公園再整備について調査

#### ◆第4回委員会

7月31日開催  
WACTORYパーク揚倉山(揚倉山健康運動公園)再整備・利活用について調査。



先進事例の現地調査も実施(エディオンピースウィング広島)

**問** 官民連携手法(PFI)を検討しているが、直営方式等との違いは。

**答** PFIは、民間資金や国の補助金が活用できることにも、直営に比べて設計・施工を一体的に発注できるなど初期投資を抑えることができる。

### 総務文教委員会

府中町情報公開条例について説明

#### ◆第4回委員会

8月25日開催  
府中町情報公開条例の全部改正(案)のパブリックコメント結果を説明。

**問** 閲覧の状況は。関係が40数件。窓口の件数は把握していない。

**答** ホームページから教育委員会事務点検・評価報告書を説明。

### 厚生委員会

医療的ケア児の対応状況を調査

#### ◆第4回委員会

8月26日開催  
医療的ケア児の対応について調査。

**問** 保育施設等で受け入れる場合の課題として、看護師の確保があげられる。看護師確保の支援は。

**答** 休暇不在時に出向させる看護師を町で確保するなど支援を検討したい。

※日常生活で医療的なケアと医療機器を必要とする子ども。茂陰1号幹線改築工事など4件の工事請負契約について報告。



## 議会の動き

### 7月

- 3日 議会報特別委員会
- 9日 全員協議会
- 11日 議会報特別委員会
- 31日 建設消防委員会

### 8月

- 8日 二本松市議会視察受入
- 20日 広島県町議会議長会議員研修会
- 25日 総務文教委員会
- 26日 厚生委員会、建設消防委員会

### 9月

- 3日 議会運営委員会
- 4日 議会報特別委員会
- 5日～16日 決算審査特別委員会
- 5日～17日 9月定例会
- 17日 議会報特別委員会
- 26日 議会報特別委員会
- 29日 全員協議会

## 副議長に 森本 将文 議員



議会の申し合わせによる副議長の任期（1年）が満了したため、齋藤昇議員が9月定例会最終日の17日に副議長を辞職しました。

これを受けて同日選挙を行い、新副議長に森本将文議員を選出しました。

## 表紙の紹介

10月5日、市（いち）町内会の運動会が府中小学校体育館で開催されました。今年、町からの助成金を使い、町内会加入者以外にも運動会参加を広く呼びかけ、コロナ禍後最高の60人余りが参加。大人も子どもも笑顔いっぱい。みんなの投げた玉がつながっているように見えます。



## 議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月上旬の予定です。



事前申し込みは不要です。  
ぜひ、お気軽にお越しください。

## 編集後記

府中町出身の福部真子さんが、9月に東京で開催された世界陸上女子100mハードルに出場し、準決勝まで進みました。パリ五輪後の昨年から、良性の頸部リンパ節炎である菊池病を患い、調整が難しい状況の中で今回の挑戦。

「病に苦しむ人の力に」との強い思いで挑む姿は、困難の中でも前を向く勇氣と、あきらめない強さの大切さを教えてくれたように感じます。福部さんの活躍を誇りに思うとともに、その姿に背中を押されるような思いで、この町で育つ皆さんが、自分たちの可能性を信じて、自らの目標へ向けた挑戦を続けてほしいと願っています。

（齋藤 昇）